

令和4年度学校評価（職員自己評価） ＊総合評価

「4」十分達成できている 「3」おおむね達成できている  
 「2」どちらかという達成できていない 「1」ほとんど達成できていない

種	重点目標	評価項目（具体的な取り組み）	総合評価
教務	授業規律	1 授業のねらいを明確にし、生徒の理解・徹底に努める。	3.4
		2 シラバスに基づいた授業ができています。	3.3
		3 不振生徒の指導を粘り強くおこなっている。	3.3
	校務の効率化	4 ICT機器を積極的に活用し、授業の充実を図る。	3.1
	P T Aとの連携	5 P T Aに学校行事などの連絡を密に行う。	3.1
生徒指導	基本的生活習慣の確立	1 HR、授業、集会時の挨拶（語先後礼）指導を徹底する。	3.2
		2 掃除の10分間の無言作業を徹底する。	3.1
	生徒会活動	3 通学時の路上やバス、電車内のマナーについて十分指導している。	3.2
		4 欠席・遅刻に対してきめ細かく指導している。	3.2
	健康相談等の充実	5 気になる生徒の情報を教員間で共有する。	3.4
		6 スクールカウンセラーや外部機関からの情報を活用する。	3.2
進路指導	高大連携	1 普通科総合選択制の特長を生かして長崎女子短期大学と充実した連携を図り、マイプラン学習の支援を行う。	3.1
		2 長崎女子短期大学の入試に向けて十分な指導を行う。	3.2
	進学指導	3 校外模試等を計画的に実施し、生徒の客観的な学力把握に努める。	3.1
		4 まなび講座の時間を確保し、計画的な学習指導を行う。	2.9
		5 希望調査を実施し、個々の進路希望を把握して進路指導を行う。	3.4
	就職指導	6 ハローワークと連携をはかり、就職内定に向けて学習会の実施など十分な指導を行う。	3.2
		7 SPI講座の時間を確保し、計画的な学習指導を行う。	3.2
入試広報	生徒募集・定員確保	1 オープンスクールや学校説明会を人気と好評のある媒体にする。	3.5
		2 中学校訪問の充実を図る。	3.4
	広報	3 テレビ・ラジオで学校の様子がよく伝えられている。	3.1
		4 ホームページの更新頻度を高くし、活性化させる。	3.1
1年	学習の習慣化	1 課題を確実に提出させることで学習の習慣を身に付けさせる。	3.1
		2 高校の履修の仕組みを理解し、真剣に授業に臨む。	3.1
	高校生活の定着	3 授業での語先後礼やマナー指導などを通して、他者との関わりを考えて行動する。	3.1
		4 マイスケジュールノートを活用して、三点固定を実践する。	2.9
	キャリア教育の充実	5 「講話や探究の時間」を通して未来開拓を行い、進路希望に応じた系列選択を目指す。	3.3
2年	家庭学習の習慣化と学力向上	1 家庭学習を十分に行えていない生徒に対して家庭学習を促す。	2.9
		2 欠点を取らないようにする。また、基礎力診断テストのGTZのD3の生徒を減らす。	3.1
	豊かな心を育ませる	3 登校・始業・集会等、時間を守り行動する。	3.2
		4 時間をはじめ、提出物やいろいろなことを自分で管理できるようにする。	2.9
	進路目標を決定させる	5 「進路講話や探究の時間」を通して進路考察を深め、進路選択を目指す。	3.3
3年	学力向上、受験に対応できる学力を養う	1 進路目標の達成にむけてプラスOneスタディを活用し、実力の向上を図る。	3.3
		2 系列学習での学びを深め、自分の考えを述べる表現力を養う。	3.3
	最高学年としての自覚を持たせる	3 社会で活躍できるよう、正しい言葉遣いを身につける。	3.0
		4 TPO【時(time)・場所(place)・場合(occasion)】に応じた行動ができるようにする。	3.1
	豊かな人間力を育む	5 「進路別学習会や面接マナー指導」を通して個々のマイプラン活動を支援し、第1希望での進路達成100%を目指す。	3.2
教育全般	普通科総合選択制の構築と充実	1 スタンダードスタディを充実し、基礎学力養成の必要な生徒に対し組織的に指導を行う。	3.2
		2 ドリカムスタディにおける系列別授業・自由選択授業の検証(学期毎)と充実を図る。	3.2
		3 マイプラン(キャリア教育)の指導案を毎時間作成し授業にあたる。	3.4
		4 プラスOneスタディの目的を生徒に理解させ、有効活用を意識させる。	3.2
	教育活動	1 4月導入期に関する検証をする。	3.2
		2 各分掌・学年で継続的に指導を徹底する。	3.2
	職員研修	1 教科指導や生徒指導の資質向上のために日々研鑽に励む。	3.0
		2 分掌会・学年会を活性化し、計画的に組織としての教育実践にあたる。	3.2
		3 クラス経営の充実のため、正副担任2名の協力を努める。	3.3

○重点目標の達成に必要な具体的な取り組みを評価項目として設定する。

- ・評価項目の達成状況を把握するための指標を設定する。
- ・必要に応じて、指標の達成状況を把握（評価）するための基準（数値）を設定する。
- ・指標は、生徒の人格の形成（成長）を目指すものを重視し、その達成状況に着目すると同時に、組織的・効果的に取り組む過程にも着目して設定する。